

平成 26 年 7 月 20 日、TV 放送「賢者の選択 Leaders」の会社紹介コーナー「ビジネス LAB」において、当社が紹介されますのでお知らせいたします。

「賢者の選択 Leaders」の放送予定は、以下の通りとなっております。

BS TwellV (全国)	平成 26 年 7 月 20 日 18 時 00 分から
Sun-TV (兵庫・大阪)	平成 26 年 7 月 21 日 22 時 00 分から
日経 CNBC (全国)	平成 26 年 7 月 27 日 12 時 00 分から



小野田ケミコ株式会社
代表取締役社長
井上 勝己
Katsumi Inoue

Company information
小野田ケミコ株式会社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目21番地 [電話]03-6386-7030
●設立:1983年 ●代表者:代表取締役社長 井上 勝己 ●従業員数:311名
(2014年4月現在) ●事業内容:地盤改良工事。都市土木・山岳・軽量盛土工事。
砂防・防災工事。特殊コンクリートの製造及び施工。環境事業。固化材の販売。土木
建築工事に関する測量、設計、積算、請負、コンサルティング業
<http://www.chemico.co.jp>

番組連動企画  広告

賢者の選択
Leaders

地盤改良を通じて震災から国土を守り未来を拓く企業

土木、建築における地盤改良事業を中心に独自の高い技術で強固な地盤をつくり国土を支えているのが小野田ケミコ株式会社だ。同社の事業と社会に果たしている使命について代表取締役社長の井上勝己氏が語った。

軟弱な地盤を強固に変えて
限りある国土を有効に活用

限られた日本の国土をより有効に活用するためには、軟弱な地盤にも構造物を建てなければならぬケースは多い。大規模な地震など災害への備えとして、液状化や崩壊を防ぐための手立てが求められている。軟弱な地盤を強固な地盤へと改良し、国土の安全や安心できる暮らしを地盤から力強く支えているのが、小野田ケミコ株式会社だ。同社は太平洋セメント株式会社のグループ企業として地盤改良分野を担っている。

「1964年に当時の小野田セメント株式会社(現太平洋セメント株式会社)中央研究所で地盤改良事業の研究を行っていたのが当社のスタートです。1983年に地盤改良工事専門会社として分離独立し、現在に至っています」(井上氏)

セメントの生産過程で生成する生石灰を主成分とした粉粒状の改良材(ケミコライム)を軟弱地盤に円柱状に圧入造成することで地盤を改良する改良材名が同社の社名に冠されている。

「高度成長期から、軟弱地盤の上に道路や橋梁、鉄道、空港などを建設するための地盤改良や、堤防や護岸の耐震化などに関わってきました」(井上氏)

インフラをつくり上げ、これを守るために果たしてきた同社の役割は大きく、事業を通じて社会に大きく貢献してきたと言える。

高度な技術とノウハウを生かし
国内外の防災に大きく貢献へ

阪神淡路や東日本など大震災の発生を契機に、大地震への備えとして地盤改良の重要性やこれに対する国民の意識がより高まった。「耐震基準の引き上げや液状化の防止、耐震補強などへの対策が強化され、地盤改良工事が必要とされるケースが増えました。当社は多くの経験の中で蓄積した技術や、専門企業として研究・開発した独自のノウハウを活かして、地震に対しても安全で安定した地盤への改良に尽力しています」(井上氏)

東日本大震災以降、東北地方を中心とした復興にも大きく貢献している同社には情熱を持った学生の応募が増加している。同社はこれに応え、土木を志す女性も含めた若手社員が活躍できるよう、職場環境の改善を積極的に実施している。

「社員や現場で働く協力会社の皆さんの健康と安全なくしては、当社の事業は継続できません。社内に健康相談室を設けて、医師による、食生活指導を行い、糖尿病、高血圧等生活習慣病の予防に取り組んでいます。また、安全はすべてに優先する。私も積極的に現場に赴き、自分の目で確認し、声を掛けていきます」(井上氏)

同社は今後、国内だけでなく海外展開も本格化する方針だ。軟弱地盤と地震が多い日本で培ってきた高度な技術とノウハウを海外でも広く役立てていく。

全国放送  毎週日曜 / 18:00~18:55 企画 / 矢動丸プロジェクト	兵庫・大阪  毎週月曜 / 22:00~22:55	全国放送  毎週日曜 / 12:00~12:55
---	--	---



全ての選択には、フィクションに勝るドラマがある。
<http://kenja.jp/>

「週間ダイヤモンド2014年7月19日号より掲載」